

市功勞表彰式・新年祝賀会を開催



後列左から中山栄樹副市長、藤原吉宏、伊藤和博、下里強、甕陸巳、山田幸與（代理：山田詠子）、小林時子、株式会社エイワ（穂高工場工場長 西川友洋）、橋渡勝也教育長
前列左から伊藤勝、山田守二、重野義博、宮澤宗弘市長、召田義人市議会議長、望月悦男、岡部勲、小松芳樹市議会副議長（敬称略）

令和元年度安曇野市功勞表彰式と新年祝賀会が1月6日、穂高会館で行われました。

功勞表彰式

功勞表彰式では11人・1企業に宮澤宗弘市長から表彰状・感謝状が贈られました。受賞者は次の皆さんです。（順不同）

【表彰状】

●社会体育功勞

伊藤 勝様（堀金）

少年硬式野球の指導者として多年にわたり、青少年健全育成とスポーツの振興に貢献されました。

●消防功勞

下里 強様（豊科）

藤原 吉宏様（豊科）

伊藤 和博様（明科）

消防業務に多年にわたり従事され、消防団活動に貢献されました。

●社会福祉功勞

山田 守二様（穂高）

民生委員・児童委員として多年にわたり、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に貢献されました。

望月 悦男様（穂高）
岡部 勲様（豊科）

保護司として多年にわたり、更生保護活動の推進と犯罪のない明るい社会づくりに貢献されました。

●自治功勞

重野 義博様（豊科）

成相区長並びに安曇野市区長会長として多年にわたり、自治の振興と協働のまちづくりの推進に貢献されました。



宮澤市長から表彰状・感謝状を贈呈

市政トピックス

【感謝状】

●地方自治功勞

(故) 山田 幸與様（穂高）

市議会議員として多年にわたり、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されました。

●統計功勞

甕 陸巳様（三郷）

統計調査員として多年にわたり職務に精励され、統計行政の推進に貢献されました。

●寄附

小林 時子様（東京都練馬区）

安曇野市豊科近代美術館収蔵の洋画家である木村辰彦作品を修復されるとともに、作品15点を寄附

され、文化行政の向上に貢献されました。

(株)エイワ様（穂高）

地域社会貢献活動として多額の金員を寄附され、市内認定子ども園および幼稚園の図書充実並びに水環境の保全に貢献されました。

なお、本年度次の団体に感謝状を贈呈しました。

【感謝状】

(二社) 長野県ゴルフ振興基金様

松くい虫対策や鳥獣対策として、多額の金員を寄附され、市の環境保全の向上に貢献されました。（平成31年4月1日贈呈）



新年祝賀会

功勞表彰式終了後には、新年祝賀会が開催され、約300人の皆さんと新しい年を祝いました。

宮澤市長は「東京五輪の開催、市制施行15周年を迎える記念すべき年。市全体が盛り上がるよう準備を進めたい」と多様なイベントが開催される年に期待を寄せました。また、市の更なる飛躍に向け、これまで掲げてきた「5つのまちづくり」を積極的に推進していくと述べ、「引き続き、市政運営にご支援・ご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

災害支援

復興を願い 被災地へ見舞金

台風19号で被災した東北信の9市を支援するため、合計870万円の見舞金を贈りました。見舞金対象自治体は次のとおりです。

【見舞金対象自治体】

長野市、上田市、須坂市、小諸市、中野市、飯山市、佐久市、千曲市、東御市

長野市へ職員1人を派遣

市は被災地支援として、長野市へ職員の派遣を決定し、12月13日、市役所で出発式を開きました。派遣職員の建設課・近藤翔主事は「現地の復興支援の一助になれるよう一生懸命頑張りたい」と話しました。



派遣期間は12月15日から3月31日までで、長野市環境部で土砂処理の積算や管理業務などを行います。

地域防災

防災への決意新たに 市消防団出初式



市消防団出初式が豊科公民館大ホールを主会場に開かれました。式典には約400人の団員が参加し、団員表彰や退団者表彰が行われました。

二木弘団長は、昨年の台風19号による災害などに触れ、「市民の防災に対する意識が向上している。地域と連携し、防災力の向上を目指したい」と話し、地域防災への決意を新たにしました。式典後には分列行進が行われ、音楽喇叭隊の行進曲に合わせて、安曇野赤十字病院前などを行進しました。